取扱説明書

DAYTONA

品番：78597

NANO Ⅱ（ナノツー） タコメーター

RPM

■ご使用前に必ずご確認ください■

このたびは、デイトナ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
●「保証書」は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、取扱説明書と共に大切に保管してください。

■ご使用前に、この安全上のご注意をよくお読みのうえ、正しくお使いください。取扱説明書内の注意事項は使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。
■商品の保証については保証書の保証規定に沿って行っております。保証内容をご理解のうえ、この取扱説明書と一緒に保管してください。
※取扱説明書内の注意事項を守らずに本商品を使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。また、修理の際に生じる脱着工賃やその他諸費用につきましても、当社で一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

■安全上のご注意■

警告 要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。

実施

●本商品は運転に支障がないように確実に取り付けてください。身体や生命に危害を及ぼす事故を招く恐れがあります。
●使用中に異常が発生した場合は、直ちに使用を中止して車両を安全な場所に停車させ、お買い求めの販売店や弊社にご連絡ください。
●配線は結束バンド等でフレームにしっかりと固定してください。その際、ハンドル操作に支障がないよう確認しながら取り付けてください。また組み付け後は配線等を定期的に点検してください。点検を怠ると重大な事故やトラブルの原因となる場合があります。
●走行中は安全を第一に前方不注意にならないようにご使用ください。また、本商品は取り付け角度や天候の状況によってメーターが見えにくくなる場合があります。走行中に見えにくい場合でも非常に危険ですのでメーターを注視しないでください。
●本商品を公道で使用する場合は道路交通法を遵守して安全に運転してください。

感電注意

●取り付け作業前に必ずバッテリーのマイナス端子を外してから作業を行なってください。また使用しない配線は必ず絶縁対策を行なってください。取り付け方法を誤ると、ショートや感電の危険や車両火災の原因となります。

注意 要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

禁止

●この商品は直流 12V 専用です。バッテリーレス車両、及び 6V 車両、交流電装車両への取り付けはできません。
●作業を行う場合は、濡れた手での作業をしないでください。濡れた手で作業をした場合感電する可能性があり、たいへん危険です。
●本体に強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
●本体をエンジン周りなどの高温になる場所に設置しないでください。ケースが変形したり、故障の原因となります。
●①メーター本体を⑤メーター固定用ブラケットに貼り付ける際に液晶面を強く押さないでください。液晶が割れる恐れがあります。液晶以外のふちの部分を押さえて貼り付けてください。
●本体にガソリンやブレーキフルードが掛からないよう取り付けしてください。また、その他のケミカルも使用しないでください。本体が変色する場合があります。

分解禁止

●本商品の分解や改造等は行なわないでください。防水性能を損ない火災や怪我、感電や故障の原因となります。分解や改造をされた場合、保証の対象外となります。予めご了承ください。

■安全上のご注意■

実施

●イモビライザー等の装着車は特にキーシリンダー周りへの配線にご注意ください。イモビライザーの誤作動やコンピューターの故障原因となります。
●本商品は取り付けに⑪結線コネクターを使用します。正しく接続できていない場合、正常に機能しなかったり、場合によって本商品や車両の破損につながる恐れがあります。取り付け時には配線場所の確認、通電の確認を行ってください。
●本体は純正メーターの視認を邪魔しない位置で、運転に支障が無いよう取り付けてください。

水ぬれ禁止

●本商品はＩＰＸ６相当の防水性能を備えておりますが、高圧洗浄器等の直接洗浄は行なわないでください。保護等級条件を超える水圧を受けた場合は内部に水が浸入する場合があります。
（ＩＰX6・・・あらゆる方向からの強い噴流水による有害な影響がない）

その他

●組み付け作業には車体のサービスマニュアルと専門の知識が必要です。ご購入店またはオートバイ販売店で熟練した整備士に作業を依頼してください。
●取り付けは確実に行ってください。また、走行中ブラケットのネジ部等が緩まないように確実に締め付けてください。取り付け後、約１００ｋｍ走行しましたら各部のネジ部の増し締めを行ってください。その後は約５００ｋｍ毎必ず点検し、同様の増し締めを行ってください。
●エンジン周辺等、高温になる場所には装着しないでください。熱で内部電子部品が破損する恐れがあります。耐熱温度は約 60℃です。
●本商品は予告なしに価格や仕様を変更する場合があります。また文中に紹介した商品についても同様です。予めご了承ください。

■取り付け条件■

●以下の条件に当てはまる車両では正常に動作しません。

・弱っているバッテリーを使用している場合。
　※アイドリング時の電圧が安定して直流 9V 以上ないと正しく起動しません。
・バッテリーレス及び 6V バッテリー車。※12V 電装にコンバートしたモデルも含む。
・交流 12V 車。※APE100/50（バッテリーレス車）、XR100M/50M、モンキーR/RT/BAJA など。
・点火信号 , 車速信号にノイズが多い場合や波形に乱れが多い車両。

※オートバイ専用品ですが、汎用品のため車体の仕様によって取付できない場合もございます。予めご了承ください。

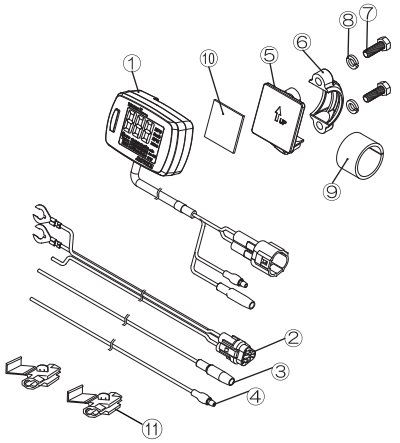
D1400-RPM-JP-001_2013/10/15

■使用上のご注意■

●本商品は夏場の炎天下のもとでご使用されると、液晶パネルが黒くなる場合があります。
これは使用している液晶パネルの許容温度を超えると起こる現象で、メーター本体の温度を下げる事で解消されます。これは商品の仕様であり、商品不良ではありませんので予めご了承ください。
●出荷時、液晶面に保護フィルムが貼ってあります。このフィルムをはがす際に液晶面にスジのようなものが入りますが異常ではありません。しばらく放置すればこのスジはなくなります。
●本商品は計測値に ± の公差があります。同商品と比較した場合、表示の切り替えタイミング等が全く同じにはならず、表示が異なる場合があります。予めご了承ください。
●本商品は高出力のＨＩＤや電装部品などを同時装着した場合、急激な電圧降下やノイズの影響により正常に動作しない場合があります。その他電装品の配線とは極力離して設置してください。
●液晶の性質上、一定の角度を超えると表示が見えにくくなります。角度を調節して見えやすい角度で取り付けを行ってください。

構成部品

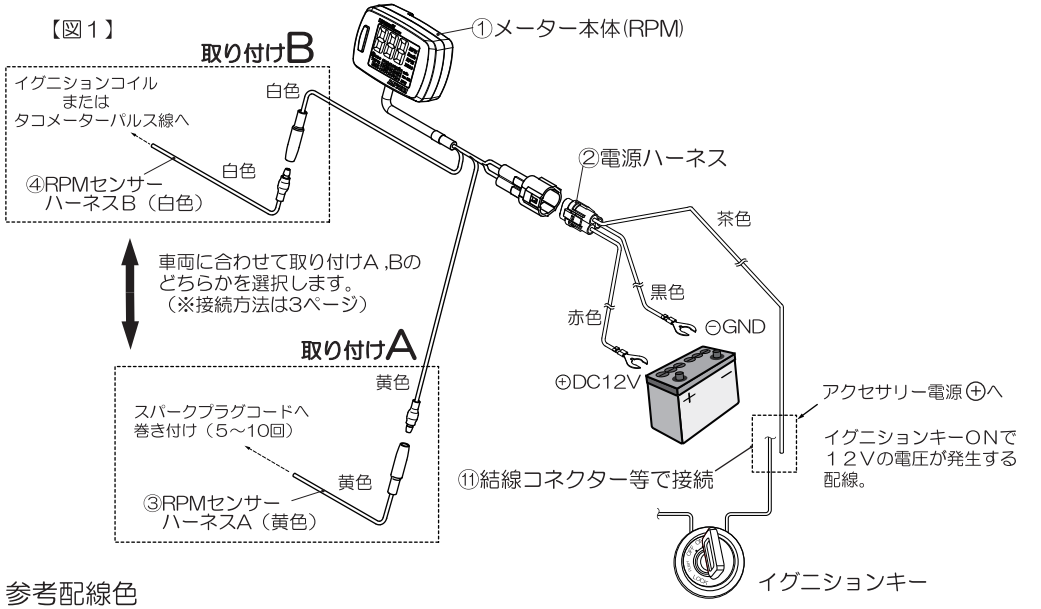
NO	パーツ名	サイズ（mm）	数量
①	メーター本体		1
②	電源ハーネス	1200mm	1
③	RPMセンサーハーネスA（黄色）	700mm	1
④	RPMセンサーハーネスB（白色）	700mm	1
⑤	メーター固定用ブラケット（上）		1
⑥	メーター固定用ブラケット（下）		1
⑦	ブラケット用ボルト	M5×15	2
⑧	スプリングワッシャー	M5	2
⑨	ラバーバンド（φ22.2ハンドル用）		1
⑩	両面テープ		1
⑪	結線コネクター		2



商品仕様

■作動電圧：直流９～16V
■寸法：H40×W60×D17.5mm
■表示レンジ：100 － 19900 rpm（1/100 表示）
■トータル使用時間表示：０ － 9999:59（最大 9999 時間 59 分・リセット不可）
■ライディング時間表示：０ － 99:59:59（最大 99 時間 59 分 59 秒・リセット可）
■表示更新切り替え（0.3 秒／ 0.6 秒）
■最高回転数記憶機能：MAX 19999 rpm
■時計（12h 表示）（誤差：±115 秒／月）
■消費電流：約 20mA（待機時：0.1mA 以下）
■液晶：白色ＬＥＤバックライト

■配線図■



参考配線色

配線色	赤色線(クワ型端子付)	茶色線	黒色線(クワ型端子付)	黄色線
接続場所	バッテリープラス⊕	アクセサリー電源⊕	バッテリーマイナス⊖	回転パルス信号
HONDA	バッテリープラス⊕	黒/茶 or 桃/青	緑	黄/緑 or 黄/青
YAMAHA	バッテリープラス⊕	赤/白 or 薄茶	黒 or 黒/白	橙/緑 or 黄/黒
SUZUKI	バッテリープラス⊕	橙/緑	黒/白	黄/青 or 黒/黄
KAWASAKI	バッテリープラス⊕	茶/白	黒/黄	赤/黄 or 青/白

※参考配線色は全ての車両に適合するとは限りません。仕向地や年式によって異なる場合もありますので必ず各車両のサービスマニュアルでご確認ください。

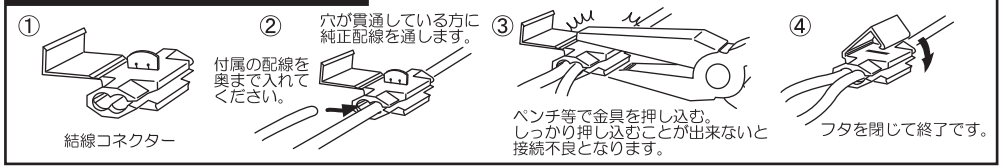
■取付方法■

●商品の取り付けには車体のサービスマニュアルと専門知識及び技術が必要です。ご購入店またはオートバイ販売店で熟練した整備士に作業を依頼してください。
●取り付け作業前に、必ずバッテリーのマイナス端子を取り外してください。ハーネスの結線中にショートすることがあり、感電の危険ばかりか車両火災の原因にもなりかねますので必ず行ってください。
●作業を始める前に①メーター本体を配置したい場所に仮置きして配線の長さを確認します。

②電源ハーネスの取り付け

▼車体のアクセサリー電源（イグニションキーＯＮで１２Ｖを発生する配線）に②電源ハーネスの茶色線を付属の⑪結線コネクターを使用して接続します。【図 1】（結線コネクター使用法は下図参照）
▼バッテリーのプラス側に②電源ハーネスの赤色線（クワ型端子付）を接続します。
▼バッテリーのマイナス側に②電源ハーネスの黒色線（クワ型端子付）を接続します。

結線コネクターの使用方法



D1400-RPM-JP-002_2013/10/15

■取付方法■　～続き1

タコメーター信号への接続

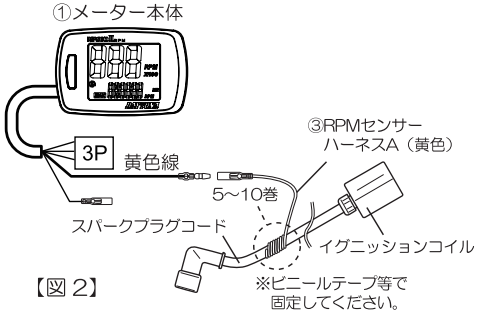
取り付けAまたはBのいずれかの方法を選択して、タコメーター信号を検出します。
接続は必ずどちらか一方の接続方法を選択し、両方接続することの無いようにしてください。
両方に接続すると信号が正しく検出できません。
接続しなかった配線はショートしないようにビニールテープ等で絶縁処理を行ってください。

取り付けＡ

●プラグコードに巻き付け接続する場合（図）

▼③ＲＰＭセンサーハーネスA（黄色）をスパークプラグコードに５～１０回巻き付けて、配線が取れないようにビニールテープ等で固定します。
▼接続が済んだらＨＩＤ等の高電圧配線を避けて取り回し、①メーター本体の黄色線ギボシ端子（オス）に接続してください。

※イグニッションコイルからプラグコードが２本出ているタイプは　どちらか片方のプラグコードからしか取れない場合がありますので接続後、動作を確認してください。



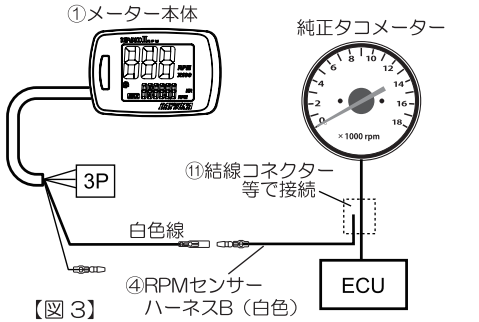
【図２】

取り付けＢ

●電気式タコメーター配線（ＥＣＵ）から信号をとる場合（図）

▼④ＲＰＭセンサーハーネスB（白色）を車体側の純正タコメーターからＥＣＵ（エンジンコントロールユニット）につながる配線に⑪結線コネクターを使用して取り付けます。
▼接続が済んだらＨＩＤ等の高電圧配線を避けて取り回し、①メーター本体の白色線ギボシ端子（メス）に接続してください。

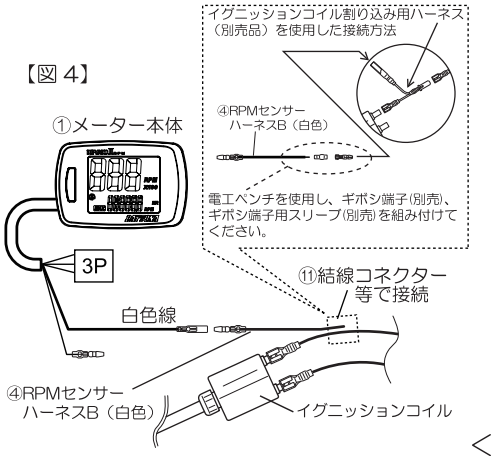
※ＥＣＵへの接続場所は車両毎で異なります。
車体のサービスマニュアルを参照し取付してください。



【図３】

●イグニションコイルから信号をとる場合（図）

▼④ＲＰＭセンサーハーネスB（白色）をイグニションコイルの１次側（＋側）に⑪結線コネクターを使用して取り付けます。（別売のイグニションコイル割り込みハーネスを使用すると純正配線を加工しないで取り付けることができます。この場合には別途、ギボシ端子、ギボシ端子用スリーブが必要になります。）
▼接続が済んだらＨＩＤ等の高電圧配線を避けて取り回し、①メーター本体の白色線ギボシ端子（メス）に接続してください。



【図４】

別売品

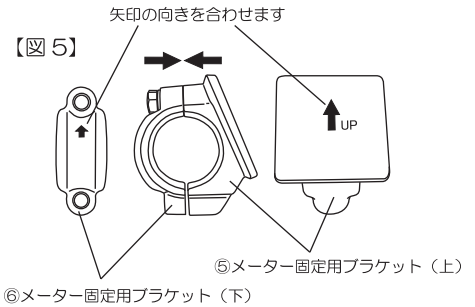
・イグニッションコイル割り込み用ハーネス	品番：64230	¥1,000(税抜き)
・ギボシ端子セット（CA/CB104型　5個入）	品番：61937	¥450(税抜き)

■取付方法■　～続き2

⑤⑥メーター固定用ブラケットの取り付け

▼ハンドルバーのメーターを固定したい場所に⑨ラバーバンドを巻きつけて、⑤⑥のメーター固定用ブラケット（上下）の矢印の向きを合わせてハンドルバーに挟み、矢印の指している方から先に⑦ブラケット用ボルトと⑧スプリングワッシャーで固定します。固定場所にあわせてレンチやプラスドライバーを使用してブラケットが回らないように固定してください。純正メーターまわりの見やすい位置に取り付けてください。【図 5,6】
▼ブラケットの位置が決まったら、各配線の取り付けが完了するまで①メーター本体を⑤メーター固定用ブラケット（上）に仮留めしてください。

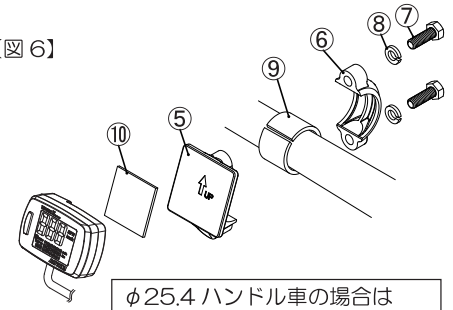
※上記はφ22.2 ハンドル車に取り付けるための説明文となります。φ25.4 ハンドル車に取り付ける場合は、⑨ラバーバンドを使用せず取り付けてください。



【図５】

①メーター本体の取り付け

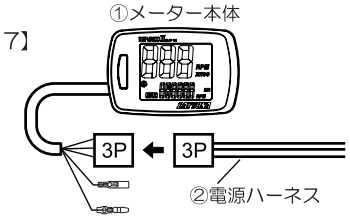
▼ブラケットの位置が決まったら、⑩両面テープを使用して①メーター本体を⑤メーター固定用ブラケット（上）に固定します。固定したら①メーター本体と②電源ハーネスの３極コネクタを接続し、配線が車体等に干渉しないように配線の位置を確認します。【図 6,7】



【図６】

φ25.4 ハンドル車の場合は
⑨ラバーバンドは使用しません。

▼配線の取り回しが走行に支障ないか確認します。
車両運転中に、配線が引っ張られたり、部品の隙間に配線を挟み込んで断線したりしないよう、無理がかからない位置へ慎重に固定してください。



【図７】

D1400-RPM-JP-003_2013/10/15

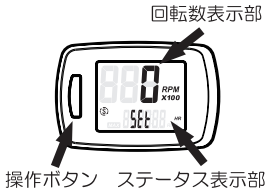
■各種初期設定■

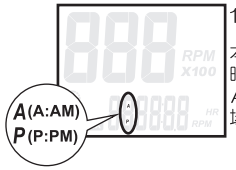
ボタン操作の説明

操作ボタンのアイコン表示

1click ＝１回押します（１秒以内）

2sec ＝２秒 長押ししします





12H 時計表示について

本商品の時計表示は１２時間表示になります。
AM、PMの表示は左図の場所になります。

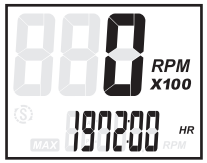
ワンポイント 初期設定の登録で、時計設定～点火方式の設定～表示更新速度切り替えまでの登録は一連の流れになります。
作業を開始する前に、事前に下記の「通常時のモード切替」、次ページの「初期設定の登録」を一読しておくと設定がスムーズに行えます。

通常時のモード切替

●電源投入時に表示される画面で、操作ボタンを１回（１秒以内）押すごとに表示ステータスが切り替わります。
※画面に表示が出ないときには２ページ、３ページの配線図や取付方法をご確認ください。

回転数表示＆トータル使用時間表示

回転数表示部に現在のエンジン回転数、ステータス表示部にトータル使用時間を表示します。
（アイコン表示 “HR”）



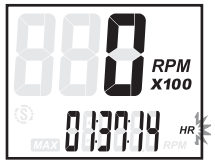
※トータル使用時間はリセットできません。
（最大表示：9999 時間 59 分）
（※工場出荷時の検査上、未使用時でもトータル使用時間が加算されている場合があります。）

1click

１回押し（１秒以内）

回転数表示＆ライディング時間表示

回転数表示部に現在のエンジン回転数、ステータス表示部にライディング時間を表示します。
（アイコン表示 “HR” 点滅）

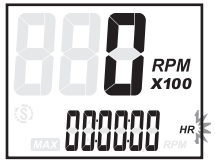


ライディング時間をリセットするには操作ボタンを２秒 長押しします。
（最大表示:99 時間 59 分 59 秒）

1click

１回押し（１秒以内）

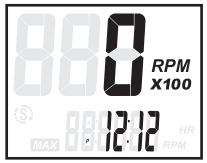
2秒 長押し



ライディング時間の表示が” 0” に戻ります。

回転数表示＆時計

回転数表示部に現在のエンジン回転数、ステータス表示部に現在の時刻を表示します。
（A→AM，P→PM）



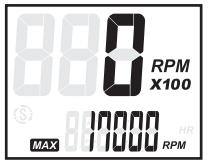
※イグニションキーが OFF になっていても、操作ボタンを１回押すことにより約 15 秒間、時計を表示することができます。
（※バックライトは点灯しません）

1click

１回押し（１秒以内）

回転数表示＆MAX 回転数表示

回転数表示部に現在のエンジン回転数、ステータス表示部に最高回転数を表示します。
（アイコン表示 “MAX”）

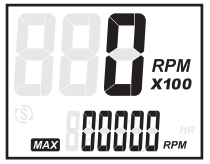


最高回転数ををリセットするには操作ボタンを２秒 長押ししします。

1click

１回押し（１秒以内）

2秒 長押し

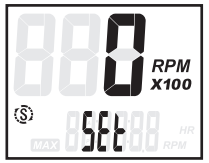


ライディング時間の表示が” 0” に戻ります。

初期設定登録の説明は次ページへ

各種初期設定登録

このモード中に設定ボタンを長押し（２秒）することで各項目の初期設定をすることができます。
（アイコン表示 “ SEt”）



初期設定登録をするためにはこのモード時に操作ボタンを2秒 長押ししします。

1click

１回押し（１秒以内）

2秒 長押し

初期設定登録の最初の項目である時計の設定に移ります。

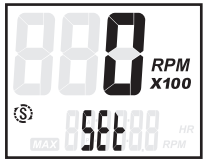
初期設定登録の説明は次ページへ

■各種設初期定■　～続き1

初期設定の登録

●通常時のモード切替から各種初期設定登録のモードを選び、時刻、点火方式の設定、表示更新速度切替の登録を行います。

各種初期設定登録のモード時に操作ボタンを２秒長押しして時計の設定に移ります。



初期設定登録をするためにはこのモード時に操作ボタンを２秒 長押しします。

２秒 長押し

初期設定登録の最初の項目である時計の設定にうつります。

時計の設定

時計の設定をします。回転数表示部に“CLO”と表示され、ステータス表示部に 12：00（工場出荷時）が表示されます。

1click

１回押し

操作ボタンを２秒長押しすると”時”設定に入ります。

２秒 長押し

操作ボタンを数回押して”時”を合わせます。時間を進めることでAM、PMも切り替わります。
操作ボタンを２秒長押しすると”分”設定に入ります。

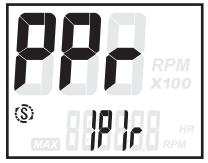
２秒 長押し

操作ボタンを数回押して”分”を合わせます。操作ボタンを２秒長押しすると次の点火方式の設定に移ります。

２秒 長押し

点火方式の設定

点火方式の切替を行います。回転数表示部に“PPr”と表示され、ステータス表示部に 1P1r（工場出荷時）が表示されます。



1click

１回押し

操作ボタンを２秒長押しすると点火方式の設定に入ります。変更しない場合には操作ボタンを１回（1 秒以内）押して次の表示更新速度切替に移ります。

２秒 長押し

“1P1r”,”1P2r”,”2P1r”が２秒間隔で順番に点滅しますので設定したい表示が点灯したときに操作ボタンを２秒長押しして決定します。
（2 秒待たなくても操作ボタンを１回押すことで表示が切り替わります。）
決定した時点で次の表示更新速度切替に移ります。

1P1r：クランク１回転１点火
1P2r：クランク２回転１点火
2P1r：クランク１回転２点火

※回転パルス信号を取る場所や車両によって点火方式の設定が変わる場合がございます。各車両に合わせて点火方式を選んでください。

２秒 長押し

表示更新速度切替

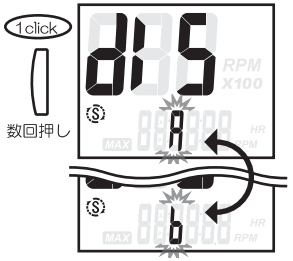
液晶表示の更新速度を２段階で切り替えます。（A＝0.3 秒、b＝0.6 秒）スピード表示部に“dIS”と表示され、ステータス表示部にA（工場出荷時）が表示されます。

1click

１回押し

操作ボタンを２秒長押しすると更新速度切替設定に入ります。変更しない場合には操作ボタンを１回（１秒以内）押すと初期設定登録を終了します。

２秒 長押し



”A”と”b”が２秒間隔で交互に点滅しますので設定したい表示が点灯したときに操作ボタンを２秒長押しして決定します。
（２秒待たなくても操作ボタンを１回押すことで表示は切り替わります。）決定した時点で次のパルス計測に移ります。

（A＝0.3 秒、b＝0.6 秒 更新）
※画面がチラついて見にくい場合には”b”に設定してください。

２秒 長押し

ここまでで登録は完了です。操作ボタンを２秒長押し後は初期設定登録を終了し、通常時のモード切替に戻ります。

D1400-RPM-JP-005_2013/10/15

■トラブルシューティング■

・本体の電源が入らない

電源が供給されていない可能性があります。	②電源ハーネスがしっかり接続されているか確認してください。茶色の線に 12V(アクセサリー電源)、黒線にアース(バッテリーのマイナス端子か、ボディアース）が供給されているか確認してください。ボディアースの場合はボディの塗装をしっかりと剥がして接続してください。

・イグニションキーを OFF にしても表示が電源が落ちない。

初期設定登録のモードに入っている。	初期設定の登録を行っている際には、イグニションキーをOFFにしても表示が消えません。初期設定の登録を終了して、通常表示に戻してからイグニションキーをOFFしてください。

・エンジンを始動しても回転数を表示しない。

回転パルス信号が入力できていない可能性があります。	③④RPM センサーハーネス A,B がしっかりと接続されているか確認してください。 車両によってスパークプラグコード、イグニションコイル 1 次側またはECU※ のどれか１ヶ所から信号を拾うことが出来ません。設置前に操作の確認を行ってから取り付けしてください。 ※純正車両に電気式のタコメーターが装着されていない車両には、ECUからの回転パルス信号が出ていない場合があります。

・レッドゾーン付近に入ると回転数を正確に表示しない。

車種によってレブリミッターが作動して点火パルスをカットしている場合があります。	レブリミッター作動時にはタコメーターが正確に回転パルス信号を拾うことが出来ません。

・走行中、回転数表示が安定しない。

車体ノイズを拾ってしまい、信号がうまく認識されていない可能性があります。	電装強化系のパーツや高出力のHIDなどを同時装着した場合、ノイズの影響を受けて表示が安定しない場合があります。各配線にアルミテープを巻いてアースに落としたり、配線の取り回しを変更したりして、その他の電装品とは極力離して設置してください。

・時計がリセットする。

車体ノイズを拾ってしまい、メーターの電源が落ちてしまっている可能性があります。	電装強化系のパーツや高出力のHIDなどを同時装着した場合、ノイズの影響を受けてメーターがリセットしてしまう場合があります。各配線にアルミテープを巻いてアースに落としたり、配線の取り回しを変更したりして、その他の電装品とは極力離して設置してください。
バッテリーが弱っている可能性があります。	メーター本体の最低動作電圧は直流９Ｖです。セルモーター起動時やHIDなとの高出力装置の起動時に、瞬間的に直流９Ｖの電圧が確保できなくなった場合には本体の電源が落ち、時計がリセットされてしまう可能性があります。 バッテリーを充電する等、安定した電源を確保してご使用ください。

・その他

液晶画面が黒くなり表示が見えなくなる。	直射日光がメーターに当たり続けて本体内部が一定の温度を超えてしまうと液晶が黒化してしまう場合があります。液晶部品の性質上の問題で、商品の仕様となりますので、症状が発生した場合には日陰等でメーターの温度を下げていただくことにより改善します。
メーターの配線について	①メーター本体の配線加工や無理な取り回しはしないでください。メーター本体の配線出口付近を無理に曲げたり、加工したりすると本体根元の防水ラバーが変形し、防水性が損なわれます。取り付けの際には、十分注意して取り付けてください。

東証JASDAQ上場 株式会社デイトナ 〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮4805 0120-60-4955

D1400-RPM-JP-006_2013/10/15